

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要					
事業開始年度	昭和58年～		根拠法令・例規等	老人福祉法、介護保険法、和歌老人ホーム規約、備前市特別介護老人ホーム設置条例、介護老人ホーム設置条例、備前市デイサービスセンター設置条例、市憩いの家龍泉荘設置条例	
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課(室)	介護福祉課
	中項目 基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち	職・氏名	高齢者福祉係長 森本 明美
	小項目 施策	21	高齢者への福祉の充実	電話	0869-64-1827
事務事業名	04	老人福祉施設管理運営事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	要支援、要介護認定者で施設サービスが必要となっている人。	
目的(何のために)	上記利用者が個人の必要に応じた生活を送るため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	十分役割が果たせるよう、施設の機能の維持、充実。	

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
老人福祉施設管理運営事業(和気老)	一部事務組合養護老人ホーム藤見苑に対して分担金を支払うもの。主に起債償還に充てられる。	▲
養護老人ホーム善山荘用地借上事業	善山荘敷地用地、交流広場用地は借地であるので契約し賃借料を支払っている。	◎
養護老人ホーム善山荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団により養護老人ホームを運営している。施設は市の所有。	◎
特別養護老人ホームスケッパ荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団により特別養護老人ホームを運営している。施設は市の所有。	◎
デイサービスセンター善山荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団によりデイサービスセンターを運営している。施設は市の所有。	○
デイサービスセンタースケッパ荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団によりデイサービスセンターを運営している。施設は市の所有。	○
デイサービスセンターしらうの荘管理運営事業	指定管理者の社会福祉協議会によりデイサービスセンターを運営している。施設は市の所有。	○
老人憩いの家龍泉荘管理運営事業	老人いこいの家の管理運営事業。市が直営で運営している。	○
特別養護老人ホーム亀楽荘助成事業	亀楽荘建設費償還金に対する助成事業	▲

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	33,593	27,064	23,026
	必要人員人件費	千円	0.14人	1,307	0.18人
	事業費計		34,900	28,786	25,509
	国県支出金		4,689	8,113	
財源	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
その他()					
一般財源		30,211	20,673	25,509	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	説明	16,577	16,454	14,530
	対前年比	%	99.3%	99.3%	88.3%
	活動コスト	円	9,707,794	5,210,000	594,000
	単位当たりコスト		586	317	41

事業の成果 (平成25年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
福祉事業団の事業収支(単位:千円)	目標値(A)	10000	10000	10000	10000
	実績値(B)	-548	-4438	3979	到達目標値
	達成率(B/A)	-5.48%	-44.38%	39.79%	21000
成果指標設定の考え方・式や説明					
事業収支=事業収入-事業支出					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	平成26年度には3年に1度の特殊建築物調査・報告を行う。この結果を踏まえ、今後の施設整備について計画的に行います。					

総合評価		
老朽化により今後、修理が増えてくることと予測されることから、計画的に行う必要があります。また、事業団に施設を譲渡することも検討事項になると考えられます。	総合評価	A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	指定管理者制度を活用し運営を委託します。市は運営管理に関し最低限の関与に留めたいと考えております。また、社会的弱者が対象となり必要な施設と考えております。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定